



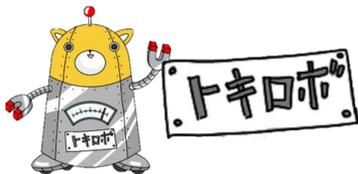
ビーネックステクノロジーズ (旧トラスト・テック)

社内・外のデータ連携をCore+とRPAツール“BizRobo!”で使い分け完全自動化

株式会社ビーネックステクノロジーズは「次」へ挑もうとするエンジニアを適材適所に派遣し、企業やエンジニア自身の成長と共に社会の発展に貢献する人材派遣会社。

“エンジニアに支持される「会社」No.1”を目指し、同社EV推進室 (EV: Engineer Value) ではエンジニアの価値を正当に評価し、高めるために活動している。

エンジニアの価値判断基準となるデータは各システムから収集する必要があるが、入出力を手で行っていたため、収集が容易ではなかった。そこで、収集の自動化や社内各部署の業務自動化を実現すべく、シンボリックキャラクター『トキロボ』を作成し、活動をスタートした。



業務自動化推進シンボリックキャラクター『トキロボ』

課題 1

日々変わるマーケットデータの収集

エンジニアの評価は、経験・スキル、お客様からの評価、市場価値などを元に総合的に判断する。収集データは各システムや外部求人サイトなどに散在しており、手作業で収集するには作業工数が膨大となるためシステム化する必要があった。

課題 2

様々な連携方式への対応

各システムへのデータ登録・更新業務は手作業で行っていたため、担当者の大きな負担となっていた。APIの有無や難易度がシステム毎に異なり、すべてのシステムに柔軟に対応できる仕組みが求められた。

課題 3

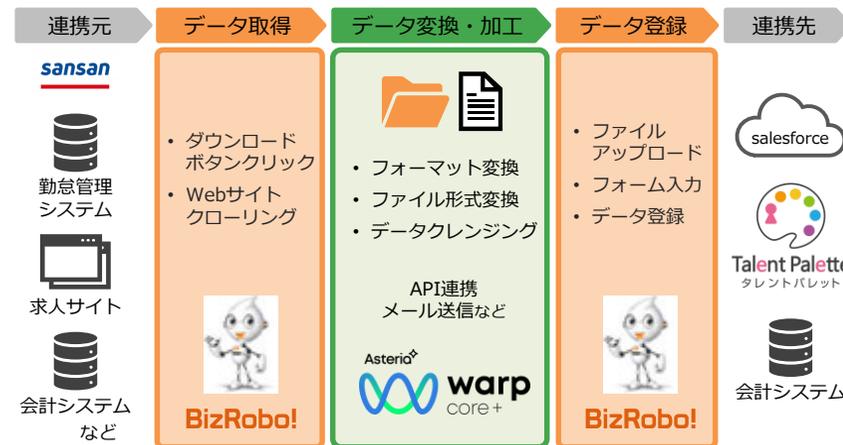
部門内で利用可能なツールの導入

データ収集業務やシステム間連携業務など、事業成長に直結する業務では、低コストで迅速な対応が求められる。事業をよく知る部門内の担当者で処理作成、運用、メンテナンス可能なツールを探していた。

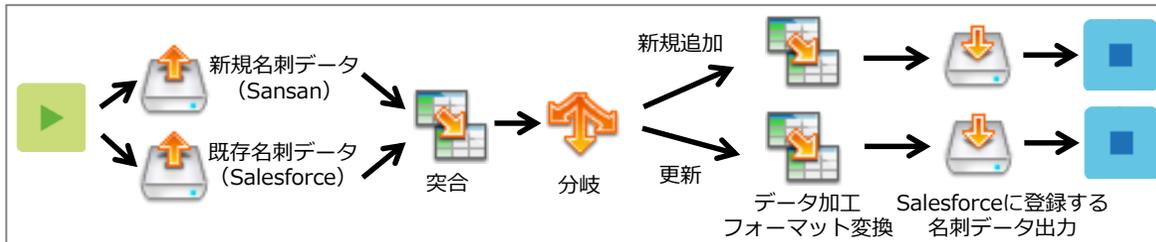
導入効果

- **“BizRobo”・“Core+”を適材適所で活用**
データ加工処理やDB/API連携はCore+、容易な画面操作で処理可能なシステムやAPI仕様が複雑なシステムはBizRobo!と使い分け業務自動化範囲を拡張。
- **月150万円以上のコスト削減**
今後自動化適用範囲を拡大し、月400万円分のコスト削減を見込んでいる。
- **内製化によりリードタイムを短縮**
事業をよく知る担当者が連携処理を開発できるためスピーディに柔軟に対応でき、リードタイムを短縮。
- **ユーザーコミュニティでの他企業との交流**
ユーザーコミュニティAUG(ASTERIA Warp User Group)のイベントに参加することで開発時の悩みを解決。また、他社との交流により開発モチベーションが向上。

BizRobo!とWarpの連携概要



「名刺情報連携処理」では例えばこんな処理をしています。



お客様から一言

ASTERIA Warp Core のココがGood!



EV推進室 リーダー 神 雅史様

Core+は初期費用ゼロ、月額6万円から気軽にスタートできます。豊富なドキュメントやAUGイベントもあり、製品インストールや開発運用面で困ることもありません。“BizRobo!”と組み合わせながら、さらに自動化適用範囲を広げていき、エンジニア価値の最大化と会社全体の生産性向上を実現したいと思っています。